



住み替え
あびこナビ
保育園待機児童が39年ゼロの街

＼ ようこそ、森・呼吸の似合う街へ ＼

我孫子East

(あびこ)

こほく あらき ふさ
湖北・新木・布佐

～ 東部エリアは、笑顔になる+PLUSの魅力がいっぱい～

これからも
住み続けたい街



ゆったり
子育てしたい
人にぴったり

空気が
おいしくて、
ホッとできる！



手賀沼 成田空港
Abiko
ここちよい暮らし
千葉県

＼ 気になる教育・保育環境を調査 ＼

我孫子(あびこ)の子育て支援をクローズアップ

1986年から、待機児童ゼロを継続中の我孫子市。中でも2つの市民の森をもつ東部エリアは、豊かな自然を近く感じながらマイホームが持てると、若い子育てファミリーの住み替え先として注目されています。

乳 小学生未満の乳幼児 小 小学生 中 中学生

▶ 米は100%我孫子産 精米したてのお米を給食へ
学校給食に地元の野菜を使用 小 中



市内小中学校19校全て自校方式の給食。各校に栄養教諭または学校栄養職員がおり、給食を通じて、旬の食材の紹介や、地産地消の推進など食育に力を入れています。東部エリアでは多種多様な野菜を生産しており、

学校給食でも使用。「子ども達の意見を取り入れた献立作りをはじめ、学校の敷地で収穫したミカンや、1年生がさやむきをした空豆を給食に出すこともあります。食材を身近に感じることで、子ども達が食への興味関心を高め、残さず食べようという気持ちにつながっています」と布佐小学校の学校栄養職員・山崎さん。



▶ 地域のプロを講師に招き、伝統文化を学ぶ
布佐タイム 中

布佐中学校が長年取り組んでいる独自の総合学習で、茶道や琴、柔道などその道に秀でた地域の人に指導を仰ぎます。生徒は学年の枠を越えて集い、文化活動発表会でお披露目も。郷土芸能講座を選択した生徒は、ひよっとこ睦(かい)の指導のもと、「郷土芸能祭」の舞台にも立ちました。



▶ 市内13の全小学校に設置
放課後の子どもの遊び場「あびっ子クラブ」 小

サポーターと呼ばれる地域の人々が見守る中、子どもたちは興味のある遊びや学びを楽しみます。通い慣れた小学校施設内にあり安心して過ごすことができ、学年制限なく加入できます。

▶ 専任の相談役「子育てコンシェルジュ」も在中
保護者と子どもの交流「子育て支援センター」 乳



すまいる広場(湖北)、ぐるんぱクラブ(布佐)など市内に4カ所。妊娠中から乳幼児まで、子育てや子育ての楽しさを発見できる場です。家族で参加できる季節のイベントやサークル活動、栄養士の話や保育園との交流などが行われています。

▶ 給食の質を維持しながら、子育て世帯を応援
市立小中学校の給食費負担軽減 小 中

児童生徒1人につき月額1000円を支援。さらに、小学1年生以上の子どもを3人以上扶養している家庭には、第3子以降の学校給食費の無償化を行っています。

▶ 休みが取りづらい時に頼れる
病児・病後児保育 乳 小

病気または病後回復期で集団保育ができない子どもを預けられる施設。病児は生後6カ月から小学6年生まで、病後児は生後57日目から小学6年生まで利用可能。「こどもデイルームみらい」では、保育士と看護師が回復期の子ども(病後児)を見てくれます。

▶ 年長から小1へスムーズな進学
幼・保・小連携を推進 乳 小

子どもたちの学びや発達が円滑に接続できるよう、市内の幼稚園・保育園・認定こども園と13の小中学校が連携しています。

▶ 産み育てやすさと働きやすさを目指して
保育園の産休・育休明け入園予約 乳

保護者がスムーズに職場復帰ができるよう、出産前から保育園の入園予約が可能。ならし保育期間もあります。

湖北出身の星野順一郎市長にインタビュー
自然の中でゆったりと 子ども時代をあびこで



「大木があれば秘密基地に、大きなくぼみは隠れ家に。冬は田んぼに厚い氷が張るとスケートを作って遊びました」と幼少期を語る、湖北出身の星野市長。2024年に創立150周年を迎えた湖北小学校が母校です。「遊具がなくても工夫して、自然を相手に暗くなるまで遊んでいました。田畑が豊富で、作り手もご近所。露地栽培のトマトの食べごろは、知り合いに教えてもらいました」
我孫子市では、給食費支援を実施している他、各校に栄養士がおり、自校方式で子どもたちに給食を提供。生産者の協力のもと、旬を生かしたメニューで食育に努めています。「特に東部エリアでは、地元農家さんの協力もあり、『我孫子産の野菜の日』では、生産者の顔がわかる素材でまかっています。自分たちで皮むきをした豆ごはん、育てたトマトを生地に練りこんだパン、採れたていちごのジャム、水田を借りて、農家と一緒に米の生産から実食の体験と、食育にも力を入れています。緑豊かな環境で幼少期から過ごした我孫子育ちの子どもたちが増えてくれたらと願っています」



〈発行〉2025年3月
〈発行者〉我孫子市
企画総務部 秘書広報課
あびこの魅力発信室
☎04-7185-2493
〈企画・制作〉
サンケイリビング新聞社